

留学報告書

記入日：2020年2月29日

基本情報

| | |
|------------|--|
| 所属学部・学科 | 経営 学部 経営 学科 |
| 性別 | <input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 |
| 留学先国 | カナダ |
| 留学期間 | 2017年 9月～ 2019年 12月 |
| 留学時の学年 | 3 年生 (渡航した時の学年) |
| 帰国年月日 | 2019年 12月 16日 |
| 明治大学卒業予定時期 | 2020年 3月 |

留学先大学について

| | |
|---------------------|---|
| 大学名 (英文・和文) | 英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学 |
| 所属学部またはコース名 | ビジネス学部 |
| キャンパスの所在地 | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 (Academic Year) | 春学期：1月～4月 (期末試験期間：4月) 秋学期：9月～12月 (期末試験期間：12月) |
| 所属学部の学生数 | 1 学年に約 200 人 |
| 留学生の割合 | 10%-20% |

留学にかかった費用

| 項目 | 現地通貨 (CAD) | 円 | 備考 |
|--------|--------------|----------|--|
| 授業料 | \$25,160 / 年 | 201.3 万円 | デュアルディグリーのため、授業料は自己負担 (一部奨学金あり)。なお授業数に応じて授業料が変化します。1 授業当たり約 20 万円 (\$2,500CAD/授業) |
| 宿舍費 | \$14,160 / 年 | 113.3 万円 | 一ヶ月：\$1,180CAD (相場\$900 - 1,200/月) |
| 食費 | \$3,840 /年 | 30.7 万円 | 一ヶ月：\$320 - 480CAD |
| 通学費 | 0 | 0 円 | 授業料に積算済。公共バスは乗り放題です。 |
| 学校用品 | 0 | 0 円 | 授業料に積算済。 |
| 教養・娯楽費 | \$2,000 | 16.0 万円 | CFA 資格取得費 |
| 被服費 | \$100 | 0.8 万円 | 服のサイズが合わないためほとんど購入していません。 |
| 医療費 | \$200 | 1.6 万円 | BC 州では診察代は無料ですが、薬の代金が高めとなっています。1 度胃腸炎になった際に、清涼飲料水や吐き気止め、胃腸薬を買いました。 |
| 保険費 | \$1,875 / 年 | 15 万円 | 保険会社：東京海上日動火災保険 - 13 万円 保険会社：Medical Service Plan (MSP) for BC Residence - 2 万円 |
| 渡航費 | 0 | 0 円 | マイルで渡航したため。 相場としては往復で 12-15 万円程度です。 |
| 旅行費 | \$8,000 | 64 万円 | ボストン (就活)：\$2,000 * 2 回 シアトル：\$1,000 メキシコ：\$1,500 * 2 回 |
| 語学学校 | 0 | 0 円 | |

| | | | |
|---------|--------------|---------|---|
| 奨学金/助成金 | \$20,000 | 160万円/年 | 奨学金: Top University Study Abroad Scholarship 留学先大学からの奨学金もありました |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | \$35,335 / 年 | 282.7万円 | |

渡航について

1) 航空券を購入した時期
 留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他 ()

2) どのように購入しましたか?
 JALのHPから

3) 渡航経路を教えてください。
 (往路) 羽田空港[HND]ーバンクーバー空港[YVR] (経由)ーヴィクトリア空港[YYJ]
 (復路) ヴィクトリア空港[YYJ]ーバンクーバー空港[YVR] (経由)ー羽田空港[HND]

4) 航空券代金
 利用航空会社: 日本航空 (JAL)
 往路: 0円
 復路: 0円
 合計: 0円 (特典航空券利用のため)

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。
 バンクーバー空港に到着したら、早速VISA申請を行います。手持ちのバッグの中に、事前にビザ申請に必要な(身分証明書、入学許可証など)を入れておくとスムーズに申請ができます。また、行きの飛行機はなるべく眠をお勧めします。カナダに到着してから、書類手続きなど、意外にもやることが多いので、体力を使います。

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)
 寮 アパート ホームステイ その他 ()

2) 部屋の形態
 個室 相部屋 (同居人数:)

3) 住居の探し方
 留学先機関が斡旋 自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)

| | |
|-----------|---|
| 利用交通機関 | <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input checked="" type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 通学時間 (片道) | 自転車の場合: 5分 徒歩の場合: 15分 |

5) 滞在中の食事について

| 【平日】 | 【休日】 |
|---|--|
| 朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () | 朝: <input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学食) | 昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (学食) | 晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () |

6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)
 自分で居住場所を探す場合は、Kijiji というアプリがおすすめです (カナダの App Store, Google Store でのみダウンロード可)。アプリを通じて、大家とチャットができるので、電話番号などの個人情報を渡さずに済みます。また、賃貸借契約書はしっかりと読み込みましょう。たまに大家が独自に作った契約書や、不当な記載のある契約書も存在します。そういった予兆がみられる場合には、契約しない意思をしっかりと表明するか、BC 州が出している正式なフォーマットに記載してくれるように頼みましょう。(Google で “Residential Tenancy Agreement BC RTB-1” と検索し、最初にヒットする Government のサイトに載っているものです)

現地に関する情報

| | |
|--|---|
| 1) 留学中は病院にかかりましたか？ | |
| ☒はい (利用機関名: Royal Jubilee Hospital) ☐いいえ | |
| 2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？ | |
| ☒はい ☐いいえ ☐わからない | |
| 3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？ | |
| 現地の友人 | |
| 4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？ | |
| ☒はい ☐いいえ ☐わからない | |
| 5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？ | |
| 情報収集 | ☒現地コーディネーター ☒友人 ☐ネット (参考サイト:) ☐その他 () |
| 防犯対策 | 戸締りをしっかりしておけば、比較的安全です。 |
| 6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？ | |
| ☐はい ☒いいえ | |
| 7) 6で「はい」と答えた方: その際どのように対処しましたか？ | |
| | |
| 8) パソコン, 携帯電話, インターネットについて, 現地での利用状況はいかがでしたか？ | |
| パソコン | レポートの作成に必須です。 |
| インターネット | 学校のWifiが便利です。 |
| 携帯電話 | 電話番号でやり取りができるSMSが使われています。BellやTelusなどの大手プロバイダーは割高なので、FidoやVerginといった格安SIMがおすすめです。 |
| 9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。 | |
| 現地に銀行口座 (TD Bank) を開設し、両親から送金してもらいました。こまめに送金していると、送金手数料 (約 3,000 円/回) が割高になってしまうので、まとまった資金を一括で送金することをおすすめします。三菱UFJのデビットカードを使っている学生は多かったですが、決済ごとに為替手数料等がとられることから、現地での口座開設をおすすめします。 | |
| 10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。 | |
| 荷造りのコツは、自分が風邪を引いたときに何があれば乗り越えられるかを考えることです。カナダで気を付けるべきは、冷えと乾燥です。低気圧で体調を崩しやすい人は、カイロを持っていくと良いと思います。また、風邪を引いた時に備えて、ポカリスエットの粉末、はちみつレモン、レトルトのおかゆ、ごはんパック、甘酒を私は持っていきました。乾燥に備えて、龍角散のど飴を舐めたり、余分にバスタオルを持っていき、それらを濡らして部屋に干したりしていました。 | |
| 進路について | |
| 1) 進路 | |
| ☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他 () | |
| 2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？ | |
| 留学に行く前の大学2年生の秋に、海外の就活イベント、ボストンキャリアフォーラム (BCF) について知り、そこから履歴書の準備や面接の対策を始めました。レジュメの添削を大学のアドバイザーや友人にしてもらい、簡単な文法エラーを防ぎました。 | |
| 3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。 | |

| | |
|--|---|
| 内定時期 | 大学4年次の秋 |
| 企業名 | ブラックロック・ジャパン株式会社 |
| 業界 | 金融・資産運用 |
| その企業或いは業界を選んだ理由 | <p>私自身が19歳の頃から個別株式やETFへの投資に熱中していたことから、金融業界での就職を希望していました。あくまで投資に興味があったので、金融業界の中でもバイサイドと呼ばれる、資産運用・PEファンド・ヘッジファンドのみに焦点を絞って就職活動をしていました。</p> <p>機関投資家としてマーケットに入ることは、結果として自身の投資行動に制限をかけることとなりますが、それよりも、機関投資家が投資に至るまでのマーケットの分析の仕方といったプロセスを知りたいと思っていました。</p> <p>ブラックロックを選んだ理由は、資産運用額の大きさはさることながら、長期的な投資を好んでいることと、業務運営方針に対して言行一致を徹底していることが決め手です。</p> |
| 4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。 | |
| 月並みではありますが、会社の分析を欠かせないようにすることが大事だと思います。各企業のIRページにはアニュアルレポートや財務諸表が掲載されています。それらを読むことで、会社の進みたい方向性と展開中の新規事業などが分かります。 | |
| 5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。 | |
| 進学先決定時期 | |
| 進学先 | (差支えなければご記入ください) |
| その進学先を選んだ理由 | |
| 6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。 | |
| | |
| 7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。 | |
| | |

留学に関するタイムチャート

| | |
|------------------------------|---|
| 2016年11月～12月 募集要項公開～選考試験日 | <ul style="list-style-type: none"> ・IELTSの準備 (計4回受験) ・選考試験に備えた、Writing強化 |
| 2017年5月～7月 合格発表後～渡航準備期間 | <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機チケットの購入 ・VISA & eTA申請 ・家探し(寮への応募、外部物件の内見アポイントメント) |
| 2017年8月 留学開始直前 | 直前は荷造りをしたり、友人たちとご飯に行ったりしました。緊張と楽しみの割合が3:7くらいだったのを覚えています。 |

| | |
|--|--|
| <p>2017年9月 留学開始</p> | <p>最初のオリエンテーションが8/21-8/25までで、授業開始が9/5-というスケジュールでした。授業が始まると勉強と就職活動で忙しくなると予想していたので、8/25 - 9/5の間に銀行口座の開設、賃貸の契約、携帯キャリア契約、引越し、家具の購入を行いました。もっと早く来られたらと思いますが、滞在費用が予算オーバーになるので、結果として詰め込むことになりました。携帯の契約は日本できるので、渡航前に契約しておくといいです。</p> |
| <p>2017年9月 ～ 2018年11月 留学中</p> | <p>授業についていくのに必死だったと思います。同時並行で11月に開催されるBCFというキャリアフォーラムに備えて、レジュメの作成、面接の練習を行いました。10月中旬頃はビデオ面接と中間テストが重なっていたので、スケジュール管理が重要になります。</p> <p>学期は4カ月ごとに区切られていて、大まかなスケジュールは下記のようになります。</p> <p style="text-align: center;"><u>1カ月目</u></p> <p>課題も少なく、個人の時間を確保できます。この時間をいかに有効活用するかで、残り3カ月の学期の過ごし方が変わります。おすすめは、おおよそ2カ月目に締め切りのあるレポートを書き始めることです。もしくは、授業後の復習等で中間テストの勉強を始めることです。</p> <p style="text-align: center;"><u>2カ月目</u></p> <p>中間テストや最初のレポート提出があります。1カ月目の余裕がある時にサボってしまったら、ほとんどの時間をレポートの作成に割くことになり、満足に中間テストの勉強ができません。この時点で成績の約50%-60%が決まるので、後半の気持ちの余裕に影響します。</p> <p style="text-align: center;"><u>3カ月目</u></p> <p>ここからグループプロジェクトが始まります。ミーティングやプレゼンテーションの準備等で、自分の時間が確保しづらくなります。おすすめは、グループプロジェクトの主導権を取ることです。誰かが始めようと言いつつのを待つのではなく、主体的にスケジュールを管理することです。○日までにレポートを提出したいから、○日か○日に集まれないかなといった具合に提案をしてみましょう。発言するには勇気が必要ですが、モヤモヤしているのは体に毒です。</p> <p style="text-align: center;"><u>4カ月目</u></p> <p>大詰めです。期末テストとプレゼンテーションが重なります。2-3カ月目の準備量が、気持ちの余裕と成績に影響します。最も忙しくなる時期ですが、だからこそ睡眠と食事をしっかり取ることが一番大事だと思います。</p> |
| <p>2018年11月 BCF</p> | <p>事前のビデオ面接を複数回行い、当日面接を1-2回行った後に、ディナーの招待とオファーレターが出されます。事前準備がものを言うので、自分の興味のある会社をいくつかピックアップして、事業内容について分析をしっかりと行いましょう。</p> <p>9月頃から面接の案内が始まるので、早めの応募をお勧めします。</p> |
| <p>2019年6月 ～ 2019年8月 サマーインターンシップ</p> | <p>夏季休暇を利用して、インターンシップを行いました。週5日のフルタイムを2-3カ月間行います。ヴィクトリア大学の正規学生は必修単位を得るために、フルタイムインターンシップを計1年分しなくてははいけません。長期インターンシップ確保のために、BCFへの参加やカナダでのキャリアフォーラムへ積極的に参加する必要があります。</p> |

| | |
|---------------------------|---|
| <p>2020年1月～3月 帰国後</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定の手続き ・公式の成績証明書の提出 (大学&就職先) ・留学報告書の作成 |
|---------------------------|---|

留学体験記

| | |
|--|---|
| あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。 | |
| <p>小学生と高校生の時期をイギリスとアメリカで過ごした経験から、海外で生活してみたいと思っていました。大学2年生の私は、幼い時に海外で生活できたのは両親の直接的なサポートによるものが大きいと思っており、私という個人の力がどこまで通用するのかを試したいとも思っていました。その力を試すには、1年間の留学では短いとも思っており、より長期間に及ぶ留学を望んでいました。そういった希望も相まって、交換留学ではなく、デュアルディグリープログラムを通して2年半の留学に行くことを決めました。</p> | |
| 語学について | |
| 受験した語学能力試験 | <input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> TOEIC <input checked="" type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他 (試験名: _____) |
| ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法 | <p>私の場合は、Writingがネックになっていました。効果的な勉強法は、数をこなすというものです。やはり、普段から英語の言い回しや助詞などの使い方に慣れていないと、いざ本番というときに、その表現が出てきません。最低でも1日に200wordsの短い英作文を書くことを心掛けました。議題はIELTSの過去問題集に掲載されているものを使用しました。</p> |
| 総合的なアドバイス | <p>留学に必要なIELTSの準備、特にWritingの強化をしました。私の場合は、過去に英語圏で居住していたこともあり、その他の技能に関しては、ある程度の自信がありました。2年半の留学を終えて思うことは、その選択は間違っていなかったということです。大学で学位を取ることや、海外で仕事を得ることを目標とした場合、最も大事なものはWritingだと思います。もちろんSpeaking, Reading, Listeningは日常生活で必要ですが、もうワンステップ上を目指すのであれば、間違いなくWritingが必要だと思います。</p> |
| この留学先を選んだ理由を教えてください。 | |
| <p>1年より長く留学できる大学が、現時点の経営学部との提携先の中では、University of Victoria以外になかったからです。もし複数あった場合、私はいくつかの条件をもとに、自分が快適に暮らせると思う大学を志願します。その条件は、国、天候、治安の3点です。私は生まれつきお腹が弱いので、なるべく料理に火を通す文化があることと気候が安定していることは必須条件です。夜中まで図書館で勉強することが多いと考えた場合、治安は良いに越したことはありません。</p> | |
| 大学（キャンパス）と学生の雰囲気教えてください。 | |
| 大学（キャンパス） | <p>大学の雰囲気は、静かだと思います。図書館や学食も、期末試験が近づくことに比例して混んできますが、それ以外はかなり空いています。特に平日の17時過ぎや土日は、閑古鳥が鳴いています。</p> |
| 学生 | <p>学生の雰囲気として、議論に積極的に参加する人が多いです。それが成績に直結するからだと思いますが、授業の予習は毎回8-9割の人がやってきている印象です。また、プレゼンテーションやファイナルレポートの提出前には、チームで夜中まで作業して、より質の高いものに仕上げようという意欲的な学生が多いです。</p> |
| 現地での交友関係について教えてください。 | |
| 正規学生との交流 | <p>University of Victoriaでは、バディ制度というものがあります。現地の学生と留学生がペアを組み、お互いの国の文化や食事などを教えあうというものです。私はバディと長い時間を過ごしました。彼を通じて、友人パーティ</p> |

| | |
|--|---|
| | に参加したり、おすすめのレストランに行ったりしました。また、勉強に関する友人は多く作っておくといいです。宿題で分からないことがあればお互いに教えあう関係性を築くことで、勉強に遅れることもなくなります。 |
| 留学生との交流 | 日本からの交換留学生と過ごすことが多かったと思います。留学したのなら海外の留学生と過ごしたいという気持ちもありましたが、私の場合はそれよりも母国語で勉強の悩みや就活についての話ができる友人が欲しいと思っていました。 |
| 留学先大学主催のイベントについて教えてください。 | |
| 留学に行く9月には、新入生歓迎のイベントが盛り沢山です。日本でいうサークルの歓迎も行っていますし、携帯のキャリアの会社や銀行がブースを構えていて、学校ですうした手続きを行うこともできます。ビジネス学部では、交換留学生と正規学生が交流を深めるために、バディを組む制度もあります。ハロウィンやクリスマスには、飾りつけのイベントも行っています。また、キャリアを真剣に考える学生のために、レジュメの作成方法や面接の練習を行うイベントも用意されています。 | |
| 課外活動について教えてください。 | |
| 学外の活動として、メンターとの交流を行いました。メンターとは、現役の社会人が学生にマンツーマンで付いて、学生が望むキャリアパスを実現するために、アドバイス等を行う人たちのことです。私はかねてより海外で働いてみたいと思っていた事と、私のメンターが働いている会社に興味があったため、この好機を逃すまいと意欲的にメンターと交流をしました。結果として、自分が将来なりたいものになるために今何をすべきなのか、ファーストキャリアとして選ぶべき業界や会社等の意見を聞くことができました。 | |
| 一日の課題の量を教えてください。 | |
| 課題量が多いですが、いたずらに多いわけではありません。おおよそ1回の授業で教科書の約30ページが進みます。1回の授業は週2回あるので、1週間に60ページ。学期間で取る授業は5~6個なので、毎週約300~360ページを読む計算になります。全部読む必要はもちろんありませんが、これらを予習で頭に入れておかないと、どんどん授業が先に進み、2か月後には中間テストがやってきます。中間テストは成績全体の20~30%を占めるため、その時に良い点が取れずに悪い流れが出来てしまうと、残り2カ月の精神状態や、時間管理にも問題が出てきます。特に学期後半になるほど、グループプロジェクトやレポート、さらに期末試験も同時にやってくるため、挽回するためにはより一層の努力が必要となります。 | |
| 期末試験について教えてください。 | |
| 普段から勉強しておけば、特段難しいことを問われるわけではありません。一般的に、会計やファイナンスなどのテストは正解が一つしかないため、テストの難易度は高いと言われています。反対に、正解がない倫理などの授業は、テストの難易度は低いと言われています。 | |
| 留学先で直面した困難（壁）について教えてください。 | |
| 1番困ったのは、家探しです。学生寮は1年生と交換留学生に優先的に貸し出されていたため、3年生として正規学生した私は、寮に入ることができませんでした。そこで、カナダに着いてしばらくは民泊をして、時差ボケと戦いながら、大学近辺の物件を散策・アポ取り・内覧・契約しました。北米は契約書の文化だと知っていたため、大家と契約書の文言を読み合わせ、違法性の有無、条件の妥当性を細かく確認していきました。初めての賃貸借契約のため、慣れないことに神経が擦り減っていく感覚があり、とても大変でした。 | |
| これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。 | |
| デュアルディグリープログラム（以下DDP）に参加することで、得られる権利は様々です。例えば、カナダの就労ビザやフルタイムの学生のみが取れる授業があります。就労ビザがあれば大学外部でのアルバイト経験や、長期休暇を使ったフルタイム労働が可能になります。DDPには資金が必要ですが、自分の力でその問題をクリアできます。また、正規学生のみが受講できる専門的な授業も多数あります。起業に必要な資金調達の方法、株式投資のファイナンス等を学べる環境が整っています。その分、個人の努力や忍耐力が要求されます。私が乗り越えられたのは、家族や友人のサポートがあったからであり、次期生にはそうした感謝の気持ちをもって留学に臨んでほしいと思います。 | |

留学先で履修した授業科目

記入日： 2020 年 2 月 29 日

学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

| | |
|--------------------------------|--|
| 1) 留学先 | Victoria University |
| 2) 留学先で取得した単位数 | 31.5 |
| 3) 本学で認定された単位数 | <input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位数認定中（認定予定の単位数：56） <input type="checkbox"/> 単位数認定はしません （理由： ） |
| 4) 留学先で履修した科目について | |
| 履修した授業科目名① | |
| Financial Accounting - COM 315 | |
| 科目設置学部 | BCom |
| 履修期間 | Sep - Dec 2017 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位数認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位数認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Christopher J. Graham |
| 授業内容 | <p>財務会計の基礎。企業の財務健全性を判断するのが目的。レクチャーで財務諸表（B/S, P/L, C/F）の読み方を教わり、事前に教授から割り振られた実在の企業の 10-K(有価証券報告書)を分析し、レポートにその企業の財務的な強み・弱みをまとめます。</p> <p>This course is an introduction to financial accounting with emphasis on the basic concepts, mechanics, objectives and judgments involved in using financial statements. The major challenges and problems of financial reporting are much broader than just generating numbers. This course will illustrate that reporting involves a great deal of judgment in order to provide the information required by the many stakeholders. Reporting by public and private companies in Canada has undergone significant transition from Canadian GAAP to multi-GAAP with the adoption of IFRS in the accounting for public entities as of January 1, 2011. As such, the focus in this course will be primarily on IFRS.</p> |
| 試験・課題など | Company Report Project - Part 1 [Individual]: 6% Company Report Project - Part 2 [Individual]: 6% Wiley Plus Prep Work [Individual]: 5% Participation [Individual]: 10% Midterm Exam [Individual]: 25% Final Exam [Individual]: 48% |
| 感想を自由記入 | 財務三表について学ぶと書いてありますが、授業は B/S と P/L の読み方、作成の仕方に重きを置いており、C/F についてはほとんど触れません。簿記 3 級程度の知識があれば授業についていくことが容易になります。期末テストでは、取引を各勘定科目にまとめ、総勘定元帳 (General Ledger) を作成し、その情報をもとに損益計算書の作成までを行います。 |

| 履修した授業科目名② | |
|---|---|
| Leading People and Organizations I - COM 321 | |
| 科目設置学部 | BCom |
| 履修期間 | Sep - Dec 2017 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Christian Van Buskirk |
| 授業内容 | 組織行動論の個人行動に近い授業です。企業の生産性を上げるために、ヒトのモチベーションはどのようにしたら上がるのかといった方法論を学びます。最終プレゼンテーションは4人1チームで、ペチャクチャ形式(PechaKucha)で行います。テーマは、モチベーションを上げるために最善を尽くしている企業を紹介することです。 |
| 試験・課題など | Learning Log (1,200 word * 5) [Individual]: 35% Participation [Individual]: 10% Team Presentation & Report [Group]: 25% Final Exam [Individual]: 30% |
| 感想を自由記入 | レポート、プレゼンテーション、期末テストがあり、他の授業に比べて課題の量は多めです。しかし、留学中に受けた授業の中では、想像していた通りの北米の授業スタイルを体験できます。授業は生徒同士のディスカッションで進み、授業外でもプレゼンテーションの準備等のために、グループで活動することが増えます。 |
| 履修した授業科目名③ | |
| Marketing Principles and Management - COM 351 | |
| 科目設置学部 | BCom |
| 履修期間 | Sep - Dec 2017 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Zhi Lu |
| 授業内容 | マーケティングの理論を学ぶ授業です。内容としてはSWOT、4P、バリューチェーンなどの経営学の基礎と同様のものです。ただし、例として扱う企業がカナダの会社が多いです。日本ではなかなか扱わないカナダ企業のことを知る機会でもあります。 This course is designed to develop an appreciation of the marketing discipline for the introductory business students. The class will be conducted through both instructor's lecturing and students' group studying. It is intended to help students understand the process of marketing, and the concepts and skills involved in the marketing process. Through studying the process of marketing, the students should be able to understand the related marketing concepts and tools, form your own marketing philosophy, and apply these to interpret future marketing phenomena and to your own career planning. |

| | |
|-----------------------------------|---|
| 試験・課題など | Participation [Individual]: 10% Class Contribution [Individual]: 10% Midterm Exam [Individual]: 25% Final Exam [Individual]: 25% Case Analysis Report [Individual]: 5% Group Project (Presentation & Report) : 25% |
| 感想を自由記入 | 1年生時の必修授業である経営学A、Bと似た内容になっています。テストは教科書の暗記系が多いです。経営学での事前知識があるため、授業についていくことは比較的容易です。他の授業に比べて、授業中の発言等による参加意欲が成績に反映されづらい(全体成績の10%)ため、留学に初めてくる学生や、北米の授業の雰囲気慣れたいという学生にはお勧めです。 |
| 履修した授業科目名④ | |
| Business Sustainability - COM 362 | |
| 科目設置学部 | BCom |
| 履修期間 | Sep - Dec 2017 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Simon Pek |
| 授業内容 | <p>持続可能性における3つのP(Planet, People, Profit)を軸に授業が進みます。各Pについて、雇用主はどのような行動をしていくべきなのかについて考えていきます。</p> <p>The purpose of this course is to educate students on the opportunities and challenges of developing more sustainable business strategies and practices and to explore the changing role of business in society and in relation to the environment. This course introduces students to corporate social responsibility, business and sustainability, business and human rights, sustainable development, and social entrepreneurship.</p> |
| 試験・課題など | Participation [Individual]: 20% Midterm Exam [Individual]: 25% Final Exam [Individual]: 45% Report [Individual]: 10% |
| 感想を自由記入 | サステナビリティには絶対的な正解はないため、自分の意見をしっかり持つことが必要です。扱う議題は環境問題のみならず、LGBTQ+、貧困、セクハラ、パワハラ等です。また、昨今のESG投資の加速化により、これから話題になるであろう新しい会計システムのSustainability Accounting Standards Board (SASB)や気候変動関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)についても触れられているため、個人的にはとてもおすすめの授業です。 |
| 履修した授業科目名⑤ | |
| Management Finance - COM 371 | |
| 科目設置学部 | BCom |
| 履修期間 | Sep - Dec 2017 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |

| | |
|---------|---|
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Sorin Rizeanu |
| 授業内容 | <p>ファイナンスの基礎です。投資の基礎理論である将来価値と現在価値の計算、企業価値評価に必要な DCF モデルの組み方、企業の最適資本構成を求める MM 理論について学びます。</p> <p>The primary objective is to provide the framework, concepts, and tools for making financial decisions. Topics covered include discounted cash flow (DCF model), capital budgeting, project evaluation (NPV and IRR), risk and return tradeoffs, WACC, and diversification.</p> |
| 試験・課題など | <p>Participation [Individual]: 15%</p> <p>Midterm Exam [Individual]: 30%</p> <p>Final Exam [Individual]: 40%</p> <p>Excel Test [Individual]: 10%</p> <p>Quiz [Individual]: 5%</p> |
| 感想を自由記入 | <p>3つの点でお勧めします。まず、ファイナンスがビジネスでの世界共通語であること。価格と価値の違いを理解できること。そして教授が面白いことです。ファイナンスは企業での意思決定に必要となる考え方です。限られた資金をどのように投資すれば、リターンの最大化につながるかを数字で測れることは、私たちに必要なスキルだと思います。そして、価値と価格の違いを見出せます。本来の価値が高いのになぜか過小評価 (undervalued) され、価格が低くなっている証券等が金融市場には存在します (逆も然り)。その価値を計算し、みかけの価格には惑わされない投資の意思決定を、ファイナンスを通して行うことができます。最後に、教授はとてもフランクで面白い人です。Sorin はハロウィンの時に、必ず中世騎士の甲冑を着て授業に来ます。クリスマスにはサンタの格好をし、チョコを食べながら授業を楽しむ人です。</p> |

履修した授業科目名⑥

Management Accounting - COM 316

| | |
|----------|--|
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan - Apr 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Kimball Ketsa |
| 授業内容 | <p>管理会計の基礎です。COM315 の財務会計とは違い、経営の意思決定に必要な原価計算や予算管理を行います。原価計算とは、原材料費、人件費、設備費といった、製品の製造に必要なコストを計算し、目標となる標準コストを算出します。その後、実際にかかったコストと比較し、先の原材料や人件費といった費用の、どの項目が目標値の達成を妨げている/助けているのかを探っていきます。</p> <p>Management Accounting is concerned with the analysis and accounting for costs, management planning, controlling and decision-making. The course provides exposure to cost behaviour, variance analysis, short-run choice decisions and budgeting, as well as activity-based costing and activity-based management.</p> |
| 試験・課題など | <p>Connect Assignment [Individual]: 5% (小テストのようなもの)</p> <p>Participation [Individual]: 5%</p> <p>Midterm Exam [Individual]: 30%</p> <p>Final Exam [Individual]: 50%</p> <p>Case Submission [Individual]: 5%</p> <p>KPMG Simulation [Group]: 5%</p> |

| | |
|--|--|
| 感想を自由記入 | コストが余分にかかっている企業を見つけて、それらの無駄を省いていく過程が、私は好きでした。特にこの授業で特筆すべきは、KPMG Simulation です。四大監査法人の一つである KPMG のマネージャーが主催のビジネスコンペティションです。経営難の企業の財務諸表が提示され、3 時間以内にその企業のコスト削減方法を、授業で習った管理会計の知識をもとに、プレゼンテーションを行います。審査員が実際に KPMG で監査を行っている従業員であることや、プレゼンテーションの内容次第では KPMG のカルガリーオフィスでのインターンシップの機会が与えられることが魅力的でした。 |
| 履修した授業科目名⑦ | |
| Introduction to Management Information Systems - COM 331 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan - Apr 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1 回 80 分の授業が週 2 回 |
| 担当教授 | Dale Ganley |
| 授業内容 | <p>経営管理情報システムの授業です。扱う内容は、ビッグデータ、クラウド技術、E コマースの基礎知識を学べます。</p> <p>This course is designed to provide any upper-level business student experience in thinking analytically about the role of information systems, technologies and networks in modern organizations, in support of business strategy, strategic initiatives, operations, and corporate philosophies. We will use a variety of approaches to examine how they can be used effectively in today's inter-networked enterprise, whether small or large, or whether in support of general business goals or of an entrepreneurial advantage. Our focus will be the managerial perspective on the use, design, and evaluation of information systems to complement and enhance the expertise of technical specialists and create a holistic understanding about technology in organizations for the 21st century.</p> |
| 試験・課題など | <p>Report [Individual]: 10%</p> <p>Midterm Exam [Individual]: 30%</p> <p>Final Exam [Individual]: 40%</p> <p>Experiential Project [Group]: 20%</p> |
| 感想を自由記入 | 暗記系のテストだったことを覚えています。ビッグデータとはなにか、それらをビジネスにどのように活用できるのかといった概念を学べます。また、Microsoft の Azure や Amazon の AWS といったクラウドについても授業では触れています。従来のオンプレミス環境とクラウドはどう違うのか、セキュリティの安全性をどのように担保しているのかななどを教示してくれます。 |
| 履修した授業科目名⑧ | |
| Operations Management - COM 341 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan - Apr 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |

| | |
|---------|--|
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Dave McCutcheon |
| 授業内容 | <p>製造業におけるボトルネックを見つけ、一人当たりの労働生産性を向上させるために、作業場をどのようにデザインすれば良いのかについて学びます。また授業では生産管理にも触れており、将来の需要を計算し、それに伴って増減する原材料等の発注量の計算も行います、</p> <p>This course is designed to address the key operations issues that have strategic as well as tactical implications for service and manufacturing firms. High-performing firms have demonstrated that efficient operations management can become a potent competitive weapon in even the toughest business environments. We will examine both quantitative and qualitative operational techniques and principles used by “world-class” organizations from both the manufacturing and service sectors. Topics include operations strategy, process strategy, process analysis, process mapping and improvement, quality management, forecasting, inventory management, lean operations, and project management.</p> |
| 試験・課題など | Participation [Individual]: 10% Midterm Exam [Individual]: 35% Final Exam [Individual]: 45% In-class Quiz [Individual]: 10% |
| 感想を自由記入 | <p>基礎的な統計の知識が必要かと思います。例えば、将来の需要予測には指数平滑法を使い、タスク管理には帰無仮説や対立仮説といった検定を用います。授業やテストはほぼ計算問題のため、苦手意識がある場合には、事前に統計学 A, B を取ってから臨むと良いと思います。</p> |

履修した授業科目名⑨

International Business - COM 361

| | |
|----------|---|
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan - Apr 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Kristin Brandl & Ricardo Flores |
| 授業内容 | <p>昨今のグローバリゼーションにより、経済、政治、文化はどのように変化してきたのかに焦点を当てています。グローバリゼーションによりヒト・モノ・カネの移動の自由が増えた反面、それらを各国がどのように規制をし、国全体の調和を取っているのかについて学びます。</p> <p>The course focuses on the rapidly changing contemporary international business environment and assesses the opportunities and challenges arising from this endlessly changing milieu. It takes a macro, meso, and micro perspective and draws on key insights from economics, political science, economic geography, and cross-cultural psychology/competence development. For instance, students will learn about globalization processes, the role of institutions and political economic systems, and the impact of changes in legal, socio-cultural, technological and financial environments. Taking all this information into account, students will learn to assess a country's attractiveness for sustainable international business activities.</p> |
| 試験・課題など | Participation [Individual]: 15% Midterm Exam [Individual]: 30% Report [Individual]: 15% Report #1 [Group]: 10% Report #2 [Group]: 30% |

| | |
|--|--|
| 感想を自由記入 | レポートがかなり多いです。当時はイギリスが EU 離脱を決めた初期の頃だったため、必然とレポートの内容もその関連のものでした。具体的には、イギリスの EU 離脱によって、残留するヨーロッパの国々の経済（主に貿易収支）がどのように変化すると予測されるかについてでした。私たちのグループはスロベニアに割り当てられました。貿易収支の情報量が少ないうえに、公的文書も英語ではないものが多かったため、苦勞したのを覚えています。 |
| 履修した授業科目名⑩ | |
| Legal Issues in Management - COM 402 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Sep - Dec 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Kenneth Thornicroft |
| 授業内容 | <p>会社法の授業に近いです。株式会社や有限責任会社などの事業形態ごとの法律の違いについてと、労働契約法や知的財産法などについて学びます</p> <p>This course will introduce you to various legal concepts about which all managers should be knowledgeable. During your business career you will undoubtedly face many of the legal issues that are addressed in this course. This course will expose you to several topics including: the Canadian Legal System, Civil Dispute Resolution systems (including Alternative Dispute Resolution processes), Forms of Business Organization (Proprietorships, General Partnerships, Limited Liability Partnerships, Limited Partnerships, and Business Corporations), Directors' and Officers' Duties and Responsibilities, Tort Law (especially Negligence and Professional Liability), Fiduciary Relationships, Agency Law, Contract Law, Employment Law and Intellectual Property.</p> |
| 試験・課題など | <p>Quiz #1 [Individual]: 25%</p> <p>Quiz #2 [Individual]: 30%</p> <p>Quiz #3 [Individual]: 30%</p> <p>Quiz #4 [Individual]: 15%</p> |
| 感想を自由記入 | 4年生レベルの授業です。普段聞きなれない法律の専門用語が授業中に飛び交うので、授業についていくのは個人的には難しかったです。成績が試験のみで決まる珍しい授業です。テストはすべて4択問題です。問題文には原告人と被告人の状況が会話形式で書かれており、選択肢には罪名が4つのせられています(例:インサイダー取引など)。テストでは、被告人に下るであろう罪名として最も可能性が高いものを1つ選びます。ひっかけ問題もないので、テスト自体はそこまで難しいものではなかったです。 |
| 履修した授業科目名⑪ | |
| Corporate Relations & Responsibilities - COM 435 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Sep - Dec 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 180分の授業が週1回 |

| | |
|--|--|
| 担当教授 | Saeed Rahman |
| 授業内容 | <p>今日のビジネスが直面する倫理的および CSR 関連の問題を特定、理解、および批判的に分析し、企業のコーポレートガバナンスをどのように適用するかを学ぶ。また、企業が従業員、株主、消費者、サプライヤー、コミュニティ、競合他社、政府との関係を良好に保つ最も効果的な方法を理解する。</p> <p>This course aims to broaden your understanding of how businesses build, manage, and strengthen their collaborations across a diverse set of communities and stakeholder groups with unique needs, expectations and capacities. More specifically, in this course, you will examine the relations of a corporation to its employees, the shareholders, competitors, suppliers, customers, government, Non-profits (NGOs), community, and nature (the natural environment). Also, you will explore the ethical and CSR challenges facing today's businesses involving issues such as good governance, regulation and compliance, supplier relations, employee responsibilities to the corporation, social and environmental sustainability, and corporate risk management.</p> |
| 試験・課題など | <p>Participation [Individual]: 5%</p> <p>Midterm Exam [Individual]: 20%</p> <p>Final Exam [Individual]: 35%</p> <p>Report [Individual]: 15%</p> <p>Case Study [Group]: 25%</p> |
| 感想を自由記入 | <p>教授自身がインドからの移民ということもあり、ビジネスの世界で彼が実際に経験した待遇の差や、人種差別の経験を話してくれます。そうした経験も相まってか、授業にも熱が入っています。レポートの添削はどの教授よりも丁寧で、A4 用紙 2 枚程度のフィードバックが返ってきた時には驚きました。生徒の個人的な悩みにも親身に相談に乗ってくれます。</p> |
| 履修した授業科目名⑫ | |
| Selected Topics in Management: Social Entrepreneurship - COM 450 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Sep - Dec 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1 回 80 分の授業が週 2 回 |
| 担当教授 | Matthew Murphy |
| 授業内容 | <p>今日の社会が直面している主要な課題の解決策を見つけるために、社会起業家精神の重要性を探求することです。このコースでは、社会的起業家精神の性質と、社会的企業の分野に影響を与える主な傾向を検証します。これには、戦略、ガバナンス、説明責任、リーダーシップ、資金調達、スケールアップ、および社会起業家/内部起業家が認識すべき社会的影響の側面が含まれます。</p> <p>This course is designed to: 1. Introduce students to the ideas of social entrepreneurship and social enterprise. 2. Familiarize students with the broad range of areas in which a social entrepreneurial approach is applicable. 3. Understand the basic knowledge and skills necessary to build and lead high performing social enterprises. 4. Be aware of the importance of, and mechanisms for, working transparently and with sound governance structures that ensure accountability, but also support development and viability of initiatives for the long-term.</p> |
| 試験・課題など | <p>Participation [Individual]: 20%</p> <p>Social Enterprise Assessment [Group]: 40%</p> <p>Social Venture Plan [Group]: 40%</p> |

| | |
|---|---|
| 感想を自由記入 | 起業という分野に進みたい学生にはおすすです。実際に社会起業家をゲストスピーカーとして招き、彼らがどのようにして初期の事業構想を練り、資金調達を行ったのかについて語ってくれました。特にベンチャーキャピタル(VC)と呼ばれる方から実際に\$10M(約 1 千万円)の資金調達をした社会起業家が、VCにウケるプレゼンテーションについて語ってくれたのが印象的でした。 |
| 履修した授業科目名⑬ | |
| Selected Topics in Management: Workplace Law - COM 450 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Sep - Dec 2018 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Kenneth Thornicroft |
| 授業内容 | <p>労働契約法の授業です。カナダの90%の労働者が州法の管轄下にあることから、この授業では特に BC 州の労働契約法、団体交渉権、労働組合について学びます。コースの構成要素には、関連法令のレビュー、司法および裁判所の判決の分析、クラスディスカッション、および実習が含まれます。</p> <p>This course examines the statutory and common law rules that govern the contemporary workplace, including the common law regarding employment contracts, employment standards legislation, human rights legislation and collective bargaining legislation. Since approximately 90% of the Canadian workforce falls under provincial jurisdiction, we will focus on British Columbia's employment legislation (which is very similar to the employment legislation in other Canadian jurisdictions) as well as certain constitutional law principles. The following matters will be examined: individual employment contracts, human rights and employment; the acquisition of collective bargaining rights and the administration of collective bargaining agreements; and the resolution of employment disputes in both union and non-union workplaces.</p> |
| 試験・課題など | <p>Quiz [Individual]: 30%</p> <p>Quiz [Individual]: 30%</p> <p>Final Exam [Individual]: 15%</p> <p>ESA Determination Exercise [Individual]: 25%</p> |
| 感想を自由記入 | カナダでアルバイトをする予定の学生におすすです。移民であるからこそ、不当な待遇や違法性の高い労働契約を結ばされることは往々にしてあります。しかし、労働契約法の知識をもってすれば、そうした不当な扱いから自分の身を守るかもしれません。契約書の文化が根強い国だからこそ、しっかりとした法整備について学んでおく必要があると私は思います。 |
| 履修した授業科目名⑭ | |
| Selected Topics in Management: Innovation and Design Studio - MBA 546 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan -Apr 2019 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |

| | |
|---------------------------------|---|
| 担当教授 | David Dunne |
| 授業内容 | <p>デザイン思考の MBA 授業です。モノの経済からコトの経済に変化した時代において、ユーザーを中心とした視点や思考が必要とされているといわれています。デザイン思考では、ユーザーとのインタビュー、チーム内でのプロトタイプ作成、トライ&エラーを繰り返すことで、事業の価値を向上させる方法を学びます。</p> <p>This course explores the topic of innovation in products, services and user experience through the methodologies and perspective of human-centred design. The essentials of this approach are to identify and frame the right ‘problem space’ through deep understanding of users and context, and to use techniques for eliciting creative ideas, such as structured brainstorming, concept poster and rapid prototyping, to explore the ‘solution space’. You will learn to become an integrative, creative problem solver, combining rigorous research and thinking with narrative, visual data and other forms of knowledge to generate original and practical strategies.</p> |
| 試験・課題など | <p>Empathy Map [Pairs]: 20%</p> <p>User Experience Report [Individual]: 20%</p> <p>Design Challenge [Group]: 40%</p> <p>Reflection Paper [Individual]: 20%</p> |
| 感想を自由記入 | <p>教授は『デザイン思考の実践：イノベーションのトリガー、それを阻む3つの“緊張感”』の原著者です。日本に住んでいたこともあり、しばしば授業中に日本絵画のすばらしさについて触れてくれます。授業は教授と生徒の双方向のコミュニケーションで成り立っており、退屈しません。また、デザイン思考ではビジネスの課題を可視化し体験を得ることが重要とされています。チームでマインドマップや Post-it などを使ってアイデアを出し合う過程は、幼稚園の図画工作でモノを作っていた時の楽しさに近いものを思い出させてくれます。</p> |
| 履修した授業科目名⑮ | |
| Leadership Strategies - COM 405 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan -Apr 2019 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Cheryl Mitchell |
| 授業内容 | <p>組織の統制をうまく取るリーダーシップの種類について学びます。リーダーシップのスタイルを4つのフレームワークに分類し、私たち個人がどのリーダーシップに属しているのかを自覚し、それに見合った行動様式を学ぶことがこの授業の目標とされています。</p> <p>The main objectives of this course are inspired by the quote from Warren Bennis who says “Becoming a leader is becoming yourself”. At the end of this course you will have: 1. Understood and assessed your own style of leading and the styles of others. 2. Discussed and applied the four-frame perspectives of structural, human resource, political and symbolic to leading effectively across a variety of contexts. 3. Explored specific leadership challenges such as change & sustainability, gender & diversity, global considerations, innovation & design thinking, and collaboration 4. Reviewed leadership across many types of organizations.</p> |
| 試験・課題など | <p>Participation [Individual]: 20%</p> <p>Weekly Refractions Paper [Individual]: 40%</p> <p>Personal Leadership Philosophy [Individual]: 15%</p> <p>Business Leader Evaluation [Group]: 25%</p> |

| | |
|----------------------------------|---|
| 感想を自由記入 | 授業ではリーダーと呼ばれる人たち(会社のCEO、独裁者、政治家)を例に挙げて、それぞれが4つのリーダーシップのどれに当てはまるのかについて議論が交わされます。最終プレゼンテーションについては、チーム内で政財界のリーダーを一人選び、その人がどのリーダーシップに該当するか、その根拠について話します。 |
| 履修した授業科目名⑩ | |
| International Marketing - IB 416 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Jan - Apr 2019 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Linda Shi |
| 授業内容 | <p>国際経営学の授業です。海外進出を狙う企業は、進出先の国のどのようなことに留意しなければならないのかについて、経営学のフレームワークを考慮しながら分析します。</p> <p>By the end of this course, you will be able to: 1. Develop a solid grasp of the major issues that affect marketing in the global environment; 2. Analyze and evaluate international markets; 3. Evaluate the merits of global positioning and branding strategies; 4. Create marketing strategies and mix plans that take account of both global and local conditions; 5. Appreciate the special aspects of marketing in emerging markets.</p> |
| 試験・課題など | <p>Participation [Individual]: 10%</p> <p>Group Case Presentation [Group]: 20%</p> <p>Group Country Project Presentation [Group]: 30%</p> <p>Final Report [Individual]: 40%</p> |
| 感想を自由記入 | 進出先の国の文化によっては、企業の製品を一から刷新しなければならないケースがあることに驚きました。宗教、言語、慣習などは、その国に実際に居住していないと分からないこともあるので、座学では限界がありますが、進出時の留意点について大まかに知れる授業だと思います。 |
| 履修した授業科目名⑪ | |
| Strategic Management - COM 400 | |
| 科目設置学部 | ビジネス学部 |
| 履修期間 | Sep - Dec 2019 |
| 留学先の単位数 | 1.5 |
| 帰国後の単位認定 | <input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません |
| 授業形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 () |
| 授業時間数 | 1回 80分の授業が週2回 |
| 担当教授 | Sudhir Nair |

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>授業内容</p> | <p>経営戦略の授業です。自分自身を経営者と仮定して、R&D、広報、生産管理、経理の4分野において、意思決定の際に重要となるファクターを学びます。</p> <p>This course is designed to give you a “top-level” view of the entire organization. You will have to consider issues that influence the competitive behavior and performance of the organization as a whole. So far in your coursework you have primarily studied business functions (e.g., accounting, finance, marketing) one at a time. This course will help you broaden your perspective so that you consider business functions from the perspective of the overall organization.</p> |
| <p>試験・課題など</p> | <p>Participation [Individual]: 15% Daily Assignment Questions [Individual]: 10% Test #1 [Individual]: 20% Test #2 [Individual]: 20% Capstone Project [Group]: 20% Capstone Report [Group]: 15%</p> |
| <p>感想を自由記入</p> | <p>教授の面白さ、授業の面白さ、評価の公平性の面でトップの授業だと思います。Daily Assignment Question では時事問題が1問、授業前に出題されます。テスト後に教授がそのニュースについて解説をしてくれます。また、この授業で特徴的なのはCapstone Projectです。ビジネスを運営する実践的な経験を得る機会が与えられます。チームでICチップの製造会社のR&D、生産、HR、マーケティング、および経理業務をシミュレーションします。これがゲームを遊んでいるように面白かったです。R&Dでは、集積回路の性能を上げることで差別戦略をするのか、それとも低価格路線でコストリーダーシップ戦略をとるのかの意思決定を行います。マーケティングでは製品の価格と広告費を設定します。これらの投資額が需要に寄与するので、生産管理では正確に需要予測をして生産過多を防いだりします。実際に経営しているような気分になれるので、とてもおすすめです。</p> |
| <p>履修した授業科目名⑰</p> | |
| <p>Corporate Finance - COM 445</p> | |
| <p>科目設置学部</p> | <p>ビジネス学部</p> |
| <p>履修期間</p> | <p>Jan - Apr 2019</p> |
| <p>留学先の単位数</p> | <p>1.5</p> |
| <p>帰国後の単位認定</p> | <p><input type="checkbox"/> 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません</p> |
| <p>授業形態</p> | <p><input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()</p> |
| <p>授業時間数</p> | <p>1回 80分の授業が週2回</p> |
| <p>担当教授</p> | <p>Michael King</p> |
| <p>授業内容</p> | <p>ファイナンス理論の応用です。授業では投資銀行の実務を学びます。資本調達の方法、DCFモデルの作成方法、資本市場に関する理論(株式と債券)について学びます。</p> <p>This course provides an introduction to corporate finance and the key decisions and issues faced by senior financial officers in corporations, capital providers (both investors and lenders), and financial intermediaries such as investment banks. The course provides students with the analytical tools, frameworks and methods used by the CFO or Treasurer of a larger company to develop and implement the financial strategy of a business. The course has three major objectives: 1. To provide an introduction to financial markets and the sources of capital for mature firms. 2. To introduce financial policies set by senior managers and show how these policies affect a company's ability to pursue its business strategy and achieve its operational objectives. 3. To demonstrate the analytical tools used to value a company and to show how specific activities undertaken by a company create or destroy shareholder value.</p> |

| | |
|----------------|--|
| <p>試験・課題など</p> | <p>Participation [Individual]: 25% Case Write-up #1 [Individual]: 10% Case Write-up #2 [Individual]: 10% Midterm Exam [Individual]: 30% Team Presentation [Group]: 25%</p> |
| <p>感想を自由記入</p> | <p>金融業界（特に投資銀行）へのキャリアを考えている学生向けの授業だと思います。教授が Credit Suisse という投資銀行出身ということもあり、内容はかなり実践的です。授業では 2019 年度の Apple の年次報告書（10-K）をもとに、買いや売りの格付けを行いました。また、アメリカの国債の金利情報をもとに、S&P や Moody's などの会社が行っている格付け業務のやり方を教えてくれます。最後のプレゼンテーションは、チームが証券会社のセールス、他生徒が機関投資家に見立てて、チーム内で決めた会社の買いや売りのセールスを行います。私たちは当時 WeWork への投資が問題になっていた Softbank の理論株価を求めました。</p> |